

(広報資料)

# 平成29年度 交通事業予算概要

平成29年2月15日  
京都市交通局

担当: 交通局 企画総務部 財務課(863-5080)

# 自動車運送事業

## 1 予算概要

### ○ 市バス・地下鉄中期経営方針に基づき更なる利便性向上を積極的に推進

- ・ 混雑緩和対策や通勤・通学時の乗車機会の拡大等路線・ダイヤの充実, 安全運行の推進, 周辺地域も含めた魅力あるバス待ち環境の創出など, 更なるお客様の利便性向上を図り, 「市民の足」としての役割をしっかりと果たす予算として編成

### ○ 1日当たりお客様数は, 前年度比9千人増の36万2千人

- ・ 路線・ダイヤの充実や, お客様サービスの拡充などにより, 前年度予算に比べ, 9千人の増加を見込み, 運送収益は, 前年度比4億円の増収

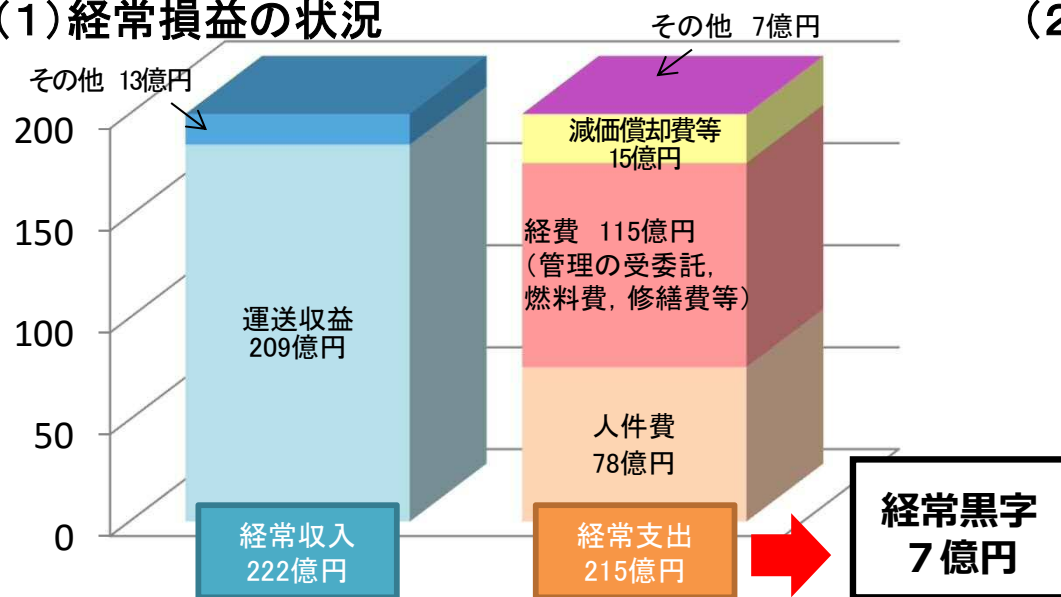
### ○ 経常損益は, 7億円の黒字を確保

- ・ 路線・ダイヤの充実など, 利便性の向上を図りつつ, 前年度並みとなる7億円の経常黒字を確保

### ○ 利益剰余金を市バスの充実とともに, 地下鉄会計を支援するために活用

- ・ 利益剰余金(27年度確定:23億81百万円)は, お客様の更なる利便性向上を図るため, 市バス事業の充実に活用(10億71百万円)するとともに, 地下鉄会計の経営健全化を財政面から支援するために出資(11億9千万円)
- ・ これまでからの出資に対して一般会計へ配当(1億2千万円)

### (1) 経常損益の状況



### (2) 予算の主要数値

	29年度予算	28年度予算	差引増△減
在籍車両数	808両	804両	4両
走行キロ数 〔1日平均〕	86.5千km	85.8千km	0.7千km
旅客数 〔1日平均〕	362千人	353千人	9千人
経常損益	7億円	6億円	1億円
利益剰余金	58億円	34億円	24億円
年度末企業債残高	48億円	56億円	△8億円

## 2 予算の重点

### (1) 路線・ダイヤの充実(29年3月実施)

- ア 混雑緩和に向けた主要系統の運行拡充
  - (ア)西大路通／金閣寺方面(204号, 205号系統)の増便
  - (イ)東山通／清水寺・祇園方面(206号系統等)の増便
  - (ウ)京都駅と主要観光地を結ぶ急行系統の運行拡充  
(二条城・金閣寺エクスプレス)
- イ 通学系統の運行充実
  - 立命館大学(衣笠キャンパス), 京都産業大学, 佛教大学  
(紫野キャンパス)関係系統の増便
- ウ 早朝・夜間時間帯の運行充実
  - (ア)回送バスの営業運行化により, 早朝及び夜間時間帯  
の運行を充実
  - (イ)深夜バスの運行拡充(コトキン・ライナーリレー号)
- エ 便利にご利用いただける路線・ダイヤ編成
  - (ア)鉄道との乗継利便性の向上
    - ・四条河原町経由への経路変更(京都岡崎ループ)
    - ・京阪電車, 東山方面の市バスとの乗継利便性の向上  
(南5号系統)
    - ・京都駅, 南区総合庁舎へのアクセス向上(16号系統)
  - (イ)ダイヤ調整による乗車機会の拡大
    - ・西大路四条→京都駅方面の等間隔運行(26号系統と  
28号系統のダイヤを調整)
- オ 地域主体のMMと一体となった路線・ダイヤの拡充  
北区柘野学区(特37号系統の本格運行化)

### (2) 魅力あるバス待ち環境の創出

- ア 周辺部等におけるバス停上屋の整備など(45箇所)【充実】
- イ ソーラー式バス停照明の設置(150箇所)【充実】
- ウ 地域, 事業者等の協力によるバス待ち空間「バスの駅」の整備  
(10箇所以上)
- エ インターネットを活用したバス接近表示器の設置(15箇所程度)
- オ バス接近表示器の更なる増設に向けた調査検討【新規】
- カ ベンチの整備推進(40箇所程度)

### (3) 安全運行の推進

- ア 有責事故件数の削減に向けた安全運転訓練車の導入【新規】
- イ 車椅子をご利用のお客様のより安全なご乗車のための新型車椅子  
固定ベルトの導入【新規】
- ウ 前方確認補助のための車外ミラー増設【新規】
- エ 車両路肩灯のLED化【新規】

### (4) お客様サービスの拡充等

- ア IC定期券及びICカードによる乗継割引の運用開始(29年4月)【新規】
- イ 上賀茂・西賀茂地域の均一運賃区間の拡大(29年3月)【新規】
- ウ 全てのお客様にわかりやすい車内案内表示のためのモニター増設  
及び多言語化【新規】
- エ バス停などで市バスの乗り換え案内などを行う京都市バス“おもてなし  
コンシェルジュ”の拡充【充実】
- オ 北大路バスターミナルのオートドアの改修及び各のりばの案内表示の  
多言語化
- カ 混雑緩和に向けた「前乗り後降り」方式の検討着手【新規】
- キ 一日乗車券カードの価格適正化及び京都観光一日乗車券等の値下げ  
に着手【新規】
- ク 今後10年間の新たな「経営ビジョン」策定着手【新規】

### 3 財政状況（前年度予算からの増減）

（税込額）

区 分		29年度予算		28年度予算		差引増△減	
		億	百万円	億	百万円	億	百万円
経 常 損 益	営 業 収 益	219	67	215	84	3	83
	うち 運 送 収 益	208	97	205	28	3	69
	営 業 外 収 益	2	33	1	91		42
	収 入 計	<b>222</b>	<b>00</b>	<b>217</b>	<b>75</b>	<b>4</b>	<b>25</b>
	営 業 費 用	208	90	205	35	3	55
	うち 人 件 費	78	30	77	64		66
	うち 経費(管理の受委託, 燃料費, 修繕費等)	115	17	111	16	4	01
	うち 減 価 償 却 費 等	15	43	16	55	△1	12
	営 業 外 費 用	6	21	6	09		12
	支 出 計	<b>215</b>	<b>11</b>	<b>211</b>	<b>44</b>	<b>3</b>	<b>67</b>
差 引		<b>6</b>	<b>89</b>	<b>6</b>	<b>31</b>		<b>58</b>
純 損 益		6	89	6	31		58
利 益 剰 余 金		<b>57</b>	<b>84</b>	<b>33</b>	<b>72</b>	<b>24</b>	<b>12</b>
利 益 剰 余 金 予 定 処 分 額		<b>23</b>	<b>81</b>	<b>10</b>	<b>58</b>	<b>13</b>	<b>23</b>
資 本 的 収 支	収 入	6	31	10	01	△3	70
	うち 企 業 債	4	98	7	75	△2	77
	うち 補 助 金	1	32	1	96	△	64
	支 出	51	28	42	88	8	40
	うち 建 設 改 良 費	23	81	29	89	△6	08
	うち 企 業 債 償 還 金	13	87	12	49	1	38
	うち 地 下 鉄 会 計 出 資 金	11	90		-	11	90
うち 一 般 会 計 納 付 金	1	20		-	1	20	
差 引		△44	97	△32	87	△12	10
資 金 剰 余 額		10	67	12	91	△2	24
年 度 末 企 業 債 残 高		47	85	56	40	△8	55

# 高速鉄道事業

## 1 予算概要

### ○ 市バス・地下鉄中期経営方針に基づき、経営健全化を着実に推進

- ・ お客様サービスの向上, 安全対策, 更なる増収増客の取組とともに, 一般会計からの必要な支援, 市バス事業からの新たな出資の受け入れにより, 経営健全化を着実に推進する予算として編成

### ○ 1日当たりお客様数は、経営健全化計画の目標を更に上回る37万8千人

- ・ 地下鉄・市バスを京都のまちづくりに更に活用するための, 民間の事業者等にも参画いただく新たな体制の構築や事業展開などにより, 前年度予算に比べ, 5千人の増を見込み, 運輸収益は前年度比2億円の増収

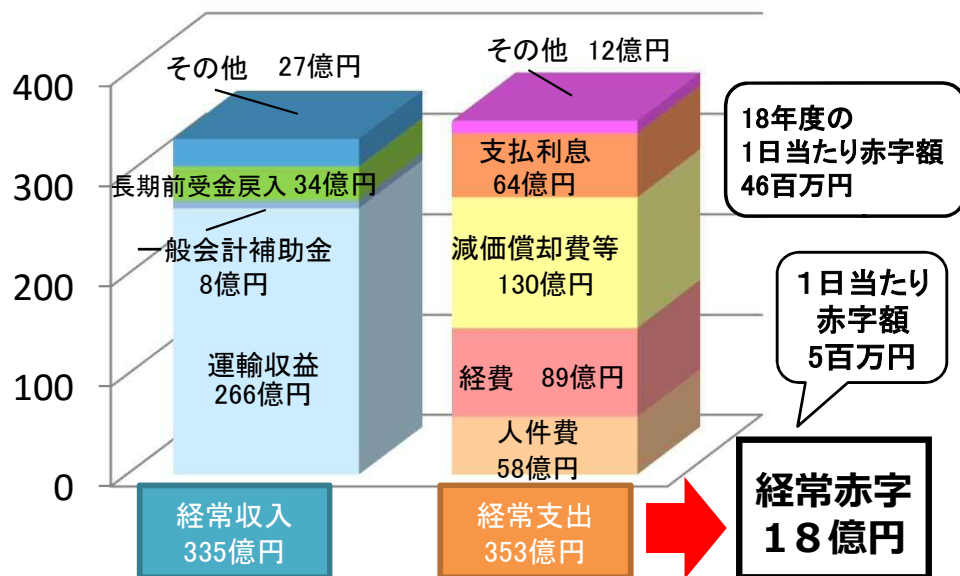
### ○ 一般会計からの補助金が大きく減少するなか、経常損益の赤字を18億円に抑制

- ・ 一般会計からの補助金が大きく減少(△20億円のうち, 特例債元金償還金補助金△18億円)するなか, 計画に掲げた1日当たりお客様数の更なる上乘せや駅ナカビジネスの積極的展開等により, 前年度予算から14億円の収支悪化にとどめる18億円の経常赤字に抑制

### ○ 企業債等残高見込は、3,600億円を上回り、依然厳しい経営状況

ピーク時  
20年度 4,922億円

#### (1) 経常損益の状況



#### (2) 予算の主要数値

	29年度予算	28年度予算	差引増△減
在籍車両数	222両 [37編成]	222両 [37編成]	—
走行キロ数 [1日平均]	57.0km	57.0km	—
旅客数 [1日平均]	378千人	373千人	5千人
経常損益	△18億円	△4億円	△14億円
現金収支 (償却前損益)	73億円	85億円	△12億円
資金不足比率	※ 21.4%	7.2%	14.2ポイント
年度末企業債等残高	3,656億円	3,792億円	△136億円

※ 平成29年度は、資金不足比率が経営健全化基準である20%を上回るため、引き続き経営健全化団体として経営健全化計画を推進。

## 2 予算の重点

### (1) 増収増客策

- ア 地下鉄・市バスを京都のまちづくりに更に活用するための、民間の事業者等にも参画いただく新たな体制の構築や事業展開【新規】
- イ 新体制の下、沿線施設や区役所・支所と連携したイベントの開催など、全庁を挙げた取組の推進
- ウ 駅ナカビジネスの積極的展開や、大学・企業と連携した駅ナカアートプロジェクトの充実など、駅の魅力向上
- エ 沿線区役所とも連携した地下鉄東西線開業20周年記念イベントの開催【新規】、夏休み親子施設見学会の開催及び地下鉄・市バス応援キャラクターを活用したPR活動の更なる展開

### (2) 駅ナカビジネスの積極的展開

- ア 「コトチカ北大路」の設置に向けた工事(29年度開業)
- イ 新たな駅ナカビジネスの展開に向けた各駅の総点検

収入額 28予算:9.0億円→29予算9.8億円

### (3) 安全対策等

- ア 烏丸線ホーム車掌用モニター設備の増設による安全対策の強化(北大路駅, 今出川駅)【新規】
- イ 車両扉指詰め警告テープの設置【新規】
- ウ 駅出入口への止水板等の設置による浸水対策の強化
- エ 地下鉄車両車内灯及び駅照明のLED化の推進

### (4) お客様サービスの向上

- ア 朝夕の通勤・通学時間帯における烏丸線の増便(4便)の実施(30年3月目途)【新規】
- イ IC定期券及びICカードによる乗継割引の運用開始(29年4月)【新規】
- ウ 地下鉄と他社とのIC連絡定期券の拡充に伴うシステム改修(JR西日本, 阪急…30年4月予定)
- エ 利用者に分かりやすい駅構内案内サインの整備推進
- オ 車内案内表示装置等の4箇国語対応の推進
- カ 無人改札口へのIC対応型多機能インターホンの設置(今出川駅, 烏丸御池駅)
- キ トイレのリニューアル(五条駅, 鞍馬口駅, 竹田駅)(五条駅29年度, 鞍馬口駅, 竹田駅29~30年度)
- ク 床面コーティング等によるトイレの美化推進(全駅)【新規】
- ケ 優先座席エリアのリニューアル【新規】
- コ 京都観光一日乗車券等の値下げに着手【新規】
- サ 烏丸線車両の新造に係る懇談会の設置【新規】

### (5) 一般会計等からの支援等

- ア 経営健全化対策出資金の受け入れ
- イ 高資本費対策補助金(任意補助)の計上見送り
- ウ 市バス事業からの出資金の受け入れ【新規】
- エ 今後10年間の新たな「経営ビジョン」策定着手(間断なく経営健全化を推進するための「経営ビジョン」)【新規】

### 3 財政状況（前年度予算からの増減）

（税込額）

区分		29年度予算		28年度予算		差引増△減	
		億	百万円	億	百万円	億	百万円
経常 損益	営業収益	292	23	289	73	2	50
	うち運輸収益	265	68	263	76	1	92
	営業外収益	42	48	61	94	△19	46
	うち一般会計補助金	8	30	28	17	△19	87
	うち長期前受金戻入	33	80	33	37		43
	収入計	<b>334</b>	<b>71</b>	<b>351</b>	<b>67</b>	<b>△16</b>	<b>96</b>
	営業費用	277	11	269	96	7	15
	うち人件費	58	09	56	62	1	47
	うち経費（動力費・修繕費等）	88	62	87	69		93
	うち減価償却費等	130	40	125	65	4	75
営業外費用	75	81	86	02	△10	21	
支出計	<b>352</b>	<b>92</b>	<b>355</b>	<b>98</b>	<b>△3</b>	<b>06</b>	
差引	<b>△18</b>	<b>21</b>	<b>△4</b>	<b>31</b>	<b>△13</b>	<b>90</b>	
現金収支	<b>72</b>	<b>61</b>	<b>84</b>	<b>96</b>	<b>△12</b>	<b>35</b>	
純損益	△18	21	△4	31	△13	90	
△累積欠損金	<b>△3,108</b>	<b>01</b>	<b>△3,112</b>	<b>74</b>	<b>4</b>	<b>73</b>	
資本的 収支	収入	370	21	283	91	86	30
	うち企業債	261	84	179	54	82	30
	うち補助金	6	13	8	07	△1	94
	うち出資金	101	21	96	26	4	95
	（経営健全化対策出資金）	64	46	72	33	△7	87
	（市バス会計出資金）	11	90	—	—	11	90
	支出	445	84	380	71	65	13
うち建設改良費	105	98	103	48	2	50	
うち企業債等償還金	339	86	277	23	62	63	
差引	△75	63	△96	80	21	17	
△累積資金不足	△309	19	△309	18	△	1	
資金不足比率	<b>21.4%</b>		<b>7.2%</b>		<b>14.2ポイント</b>		
年度末企業債等残高	3,655	85	3,791	98	△136	13	